レッスン：SPA62

テーマ：質問＆答え

LESSON/SPA62/KE9/M10/M/31

私の姉妹・兄弟たち、スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

質問：現在世界中に暴力が多発してますが、エレブナの会員と私たちはそれを止めるために何ができるでしょうか？

Ｋ：その特定の地域をあなたのハートから放射されるホワイト・ピンク色の太陽の光で包みます。その地域全体を包み、意味を与えます、その地域全体が守られる、その地域の人々全員が適切な思考を現し、お互いに抱き合っている、という意味を与えます。同時に同じ色、同じ輝きで地球全体をも包むようにします。同じような状況にある他の地域の人々が何か行動を起こす前に考えるようになるためです。暴力は解決の手段にはなりません。ですからそのようにしてください、特に真理の探究者は、私たちは常に機敏であるべきで、そして勿論これは常に不可視のヘルパーたちが行っていることです。

質問：自分で何か達成できることはありますか？

Ｋ：勿論です。いつでも座ってエクササイズをするとき、特に他人に与える、奉仕をするエクササイズをするときには、何かをしている他の人々の助けがそこにあるのです。そして現在のパーソナリティーが高い気づきのレベルに達すると、特に自己実現に達すると、そして彼または彼女がエクササイズを行っている時（それは私が前に述べたのと全く同じ形ではありませんが）、実際にはそれを行っているのはロゴスなのです。それは霊的ヒーラーによってヒーリングが行われる時と全く同じです。霊的ヒーラーまたはサイキカルなヒーラーは決して自分がそれを行っていると主張することはありません。なぜなら、その瞬間にヒーリングを行っているのは内側からのスパークであり、そのスパークとは生の海（それは実際に主(He)なのです）からの生の一滴だからです。それゆえに、真摯な、そして本物の霊的ヒーラーは「私がヒーリングを行っている」とは決して言わないのです。

質問：私達の内側におけるロゴスのスパークはハートに位置しているのでしょうか？

Ｋ：それは実際にはあらゆるところに位置しています。主は諸宇宙にある全てを活性化させます。それを通じて現れが表現される手段としてのマインドですら、主によって活性化される必要があるのです。手段としてマインドがありますが、しかし全てを活性化させるその海とは主なのです。主は物質の原子ですら活性化させるのです。

アークエンジェルが築くためには、諸宇宙を築くために必要な手段がまず活性化される必要があり、創造の元型の形を取るために活性化される必要があります。なぜなら、最小のものでさえ最大のものと全く同じだからです。存在し、そこに実在するためにはその形、フォームが必要であり、さもなければ無です。そして何らかの手段によって生が完全に表現されるためには、（それはマインドの色々なバイブレーションですが）、創造の元型という形、フォームがなければならず、さもないと生の現れは完全ではありません。

例えば、無知のなかにある現在のパーソナリティーは元型の形とはマッチしない体を使用しています。それゆえに、無知のなかにいる間は、人間はその真の本質としての特質を現していないのです。だからこそ私たちは、現在のパーソナリティーの不定形の諸体についてワークを行い、気づきのレベルを上昇させねばならないと述べているのです。それはゆっくりとしたプロセスですが、しかしそれが唯一の方法、道なのです。

Page2

まず最初に、多くのレッスンで述べたように、現在のパーソナリティーの３つの不定形の諸体はハートのセンターに根ざしています。まずそれら３つは球体をしているが、実際には現在のパーソナリティーは現れとしては２つの体であり、３つめの体とは肉体であり、それはそこで球体の一つと関係しています。それでは３つめの球は何を意味するのでしょうか？それは肉体の健康を意味します。なぜなら、健康とは他の２つの体、つまり思考・行動の仕方としての現在のパーソナリティーに依存しています。それゆえに、その人の現れによるパーソナリティーが肉体の健康を損い、健康に影響を与えるのです。それゆえに苦しみなどのストレス下にある現在のパーソナリティーは、肉体の健康上の問題が生じるのです。それゆえ私たちは２つの体、つまりサイコノエティカル体、つまり現在のパーソナリティー、つまり思考・行動の仕方に関するワークが必要なのです。

それらの体のワークを行い、形を整え、それらが肉体の形を帯びることができるようにするのです；それらはこの体のなかで広がり、ノエティカル体の中心は徐々に上に上昇し、肉体の健康を意味するセンターは下に下がり、お腹付近に留まります。

ですから３つの体があり、１つの体は肉体であり、それを通じてパーソナリティーが物質界でそれ自身を現すのですが、実際にはそれは私たちではありません。物質界で自らを現すために私たちが肉体を使用するのです。現在のパーソナリティーとしての私たちとは他の２つの体なのです。勿論、これは（＊各体がそれぞれの本来の場所に移ること）非常にゆっくりとしたプロセスです。体の形が完全に再形成されるためには沢山の経験が必要です；おそらく現在のパーソナリティーとしての人間は何百、何千、何百万という転生すら必要となるかもしれません。転生の回数は重要ではありません。それは勿論、一般に太陽系のシステムなど他の事柄にもよります。

しかし、それらの体が不定形であるときには、そのパーソナリティーはその現在のパーソナリティーの素質的可能性から与えられているものを現すことがなく、そのパーソナリティーは無知のなかにいます。その理由はパーソナリティーが使用している手段（＊体の形）が創造のアーキタイプ（元型）の形と同じでないからです。創造の元型とはいわゆる生命の木と呼ばれているものであり、それはまた人間の型でもあるのです。それはまた物質の原子の形とも全く同じです。人々がいかにしてこのリアリティーにアプローチできるかは全く別問題です。

勿論、不定形の体を再形成するためには、パーソナリティーにとって物差し、基準、言い換えれば知識が必要ですが、同時に、不動である創造の法則、素質的可能性のサイクルが助け、手段を提供しています。それらの助けを徐々にゆっくりと利用することによって、パーソナリティーはそれら不定形の体の形を再形成する上での助けが得られるのです。それは非常にゆっくりとしてプロセスであり、何であれ生(Life)のなかにあるものをパーソナリティーは徐々に現すようになるのです。なぜなら、生とは無条件の愛であり、絶対愛、絶対アガピだからです。

パワーと能力に関しては、生にはそれら全てがあり、それは想像を超えており、特定の気づきのレベルにある理解を超えています。それゆえに現在のパーソナリティーはパワーと能力にはいかなる理由であれタッチすべきではなく、それは非常に危険なことです。言い換えれば、能力とパワーを簡単に得ることを約束するようなテクニカルな手段、マジックなどに決して触れるべきではありません。なぜなら、それを現すのは現在のパーソナリティーではないからです。パワー、能力として現されるものはエレメンタルであり、現在のパーソナリティーはその時危険な場に入ることになります。

質問：地面の下にある四面ピラミッドは墓なのですか？

答え：四面ピラミッドが墓なのではありません。現在のパーソナリティーの墓が四面ピラミッドの下、地のエレメントのなかにあるのです。それが創造界にある全ての人類に当てはまるか否か、答えはイエスです。四面ピラミッドは素質的可能性のサイクルによって提供される助けです。それは人間が創造したものではありません。それは人間が発見したものでもなく、人間に与えられているものです。ピラミッドおよび他のシンボル、それらは私達に与えられたものであり、誰も自分がそれを見いだしたと主張することはできません。それらは全ての人のためにそこにあるのです。必要なのは、それらにアプローチするための努力であり、勿論適切な方法でアプローチし、使用する必要があります。

Page3

例えば、生命の木は人間、神秘家が遠い昔からそれを使用してきました。彼らはそれについて話してきました。しかし、それらが適切なアプローチの仕方かどうかは別問題です。無知にある人間は本当は下向きのものを上向きであると誤解します。なぜなら、現在のパーソナリティーとしての私たちは無知にある間は、本来の自分自身の影だからです。本来の自分自身と言うとき、それは私達を活性化させるスパークを意味するのではなく、人間が地面の下ではなく、地上に２本の足で立っているステート（状態）を意味します。その時人間は何が上で何が下かを知っているからです。

残念なことに、これは人間が過去に、そして現在でも使用してきた多くの方法、メソッドの過ちなのです。彼らはこの生命の木のセンターを活性化しようとしてきました…意識またはセルフ・エピグノシスのセンター、あるいはパワーのセンターであろうと。彼らは不定形の体の再形成を行う前に、少なくとも何が上で何が下かを理解する前に、活性化しようとしたのです。そして実際に彼らが成功したこと、それはそれらのセンターを活性化し、開き、（人間が創造した）低次のバイブレーションのエレメンタルに自らを委ねたのです。それは地のエレメントに属し、非常に危険です。なぜなら、最終的にそれらのエレメンタルはそれに同調した特定のパーソナリティー（つまり、活性化し、エネルギーを与えた人）のエネルギーを吸い尽くすからです。そしてそれらのエレメンタルがその特定のパーソナリティー（特にその特定のパーソナリティーのエゴイズム）に与え、奉仕したものの何百倍以上ものエネルギーを返すように要求してきます。勿論、そのパーソナリティーはそれを返すことはできず、徐々に弱体化してゆき、そのパーソナリティーはコントロールできない状態で悪魔のビジョンを見、声を聞き、統合失調症にさえなることもあり、最後には死んでいきます。そして最悪なことには、それはその一回の転生だけで終わることはないのです。

それゆえに統合失調症、アンバランスなパーソナリティーとして子供が誕生するケースがあるのです。そのような状態はドラッグによっても引き起こされます。もし誰かがドラッグを使用すると、その結果は１回の転生だけで終わるわけではありません。

それゆえ、私達はまず五芒星を正しい位置にもって来る必要があります。それは五感および５つの超感覚を意味します。それによってそれらを意識的に使用できるようになるためです。ある人が５つの超感覚を通じて考えていると思っても（ファンタジーですら５つの超感覚の使用を通じて生じます）、しかし、そのパーソナリティーはそれを意識的には使用していません。

ですから、いわゆるクンダリーニのエネルギーを上昇させるためには、そのパーソナリティーは５つの超感覚を用いる真の現れに至る必要があります。さもないと、そのエネルギーは上ではなく下に向かい、その現在のパーソナリティーのイメージにエネルギーを与えることになります。言い換えれば、現在のパーソナリティーはもっと地のエレメントにフォーカスすることになります。つまり、地のなかにある低次のバイブレーションのエレメンタルです（それもまた人間が創造したものですが）。

私達はまたエレメンタルを作るやり方、あるいは助けとして私たちが使うシンボルを築くやり方に非常に注意する必要があります。シンボルを作る際に私達が動くのは必ず時計回りであるべきです。生憎、グループ、メソッドとして今日の人間が使っているやり方では反時計回りに動くべきだと教えているところがたくさんあります。なぜなら、非常に速く結果が得られるからです。

そうです、とても速く結果がえられます。その理由とは、反時計回りは低次のエレメンタルへの同調だからです。人間の無知が調和をバランスへと変え、私たちにはバランスが必要であり、否定性でなく肯定性が必要です。しかし、私たちは“否定性”を避けるべきです。勿論、現在のパーソナリティーが無知にある間は否定性は強くなります。

Page4

それゆえ、もし紙にシンボルを描いたり、創造する場合、もし右から左へと動くなら、それは悪魔の傘の下にあるエレメンタルに同調することになります。

それは本当のことであり、私達真理の探究者がそれらのメソッド、エレメンタルと向き合う時、私たちの目的はそれらのエネルギーを無力化することです。それを行っているメソッドはたくさんあり、特に即座の結果を約束するようなセミナーにあなた方が参加するときには、そのようなやり方を使っています。そのような現実を表面に出すときです。十分に注意してください。あなた自身を守るためだけでなく、それをそれらのメソッドを使って助けようとする人々を守るためにも。あなたが人々を助けるためにそれらのメソッド、エレメンタルに同調すると、最終的にはそれは非常に危険なものとなります。

質問：例えば、ある人がそれらのメソッドを使用しているとして、その人があなたの言うことを受け入れ、理解した場合、そこからどうやって抜け出るのですか？

答え：既に多くのダメージを受けていなければ、問題なしに抜け出すことができます。もし多くのダメージを受けていれば、少し時間がかかります。実際にそのようなケースがありました。助けを求めてきた人々がいましたが、その時には既に彼らの問題は非常に深刻な事態になっていたのです。

質問：クラウン・チャクラはどれですか？

答え：クラウン・チャクラはクラウン・チャクラです。これは前に私が説明しました。それらを活性化するためのたくさんのメソッドが行われています。それらのセンターは常に気づきの上昇の結果として活性化されるべきです。もしあなたがそれらにフォーカスして活性化させようとするなら、実際にはあなたは外側からの影響に自分を開いていることになります。現在のパーソナリティーが無知にある間にそれらのセンターにフォーカスするなら、その回転は時計回りではなく反時計回りとなります。そしてもしあなたが開くなら、自動的にあなたは非常に低次のエレメンタルに同調することになります。

そうです、あなたは声を聞いたりするでしょう。「今私にはあるパーソナリティーが見える。彼らは私に話している。彼らには多くの知識があり、私を導いている」などと言うでしょう。成功しているパーソナリティー、逆の意味で成功しているパーソナリティーが自分は神と話しているなど言うのを聴くかもしれません。いいですか、それらのエレメンタルはそれらのパーソナリティーを簡単に下へと引っ張ることができるのです。才能ある恵まれたパーソナリティーなどはいません。ワークをして、真の本質をより多く現すことに成功したパーソナリティーがいるだけです。言い換えれば、そのようなパーソナリティーは真の本質の特質をより多く現しているのです。

そのようなことが現在のパーソナリティーに生じるべきです。同調する対象を選ぶことなくチャネルになるのはとても危険です。何であれ自分が現しているものをコントロールする能力（意識的にコントロールするだけでなく超意識的にも）にまで到達するべきです。

あなた方は機敏である必要がありますが、それでは十分ではありません。常に超機敏であるべきです。たくさんのメソッド、グループで行っているように、良い気分を体験するために機敏であることを停止するべきではありません。常に機敏に気づいており、全てをコントロールし、自分の現れをもコントロールできる状態であるべきです。このような義務を決して捨て去るべきではありません。良い気分でいたいがために人生の困難に立ち向かうのを放棄すべきではありません。私たち困難、問題に立ち向かい、克服すべきです。私たちは現在のパーソナリティーに対してワークすべきです。なぜなら生それ自体が現在のパーソナリティーを活性化するので、私たちを活性化するそのスパークを現すようにすべきです。それが正しいやり方です。繰り返しますが、クンダリーニを上げようとすることは、実際には下に向かうことです。

まず、真剣な探究者は決して腹つまり太陽神経叢およびそれから下にはフォーカスすべきではありません。私たちは現在のパーソナリティーを構成する３つの太陽を活性化しますが、そこで何かをすることはしません。ただそれらが輝いているのを見るだけ、それだけです。

行うべきワークはたくさんあります。現在のパーソナリティーにただ贈り物として与えられるものは何もありません。私たちが現すものは全て一生懸命に努力した結果であるべきです。その時にのみ、あるパーソナリティーが現すものは他の同胞すべてにとって有益となることを確信できるのです。人が自分の気づきを高める唯一の目的は、同胞の人間に奉仕することです。なぜなら、もし他人からの注目を得たいがためにパワーと能力を得ようとするなら、その人が得るものはイリュージョン、幻想だけです。

Page5

真剣な探究者が何よりもまずすべきことは、役者の衣装を脱ごうとすることであり、パーソナリティーは自分の裸の姿を恥ずべきではありません。裸とはつまり思考・行動の仕方のことです。そうです、私たちはパーソナリティーが自らの真のレベルを見いだすことができるように助けようとすべきであり、その現れのレベルからワークをスタートさせるのです。なぜなら、もしある人が役者に留まって、自分を“向上させる”ために何かをしようとするなら、その人はより巧みな役者になるだけであり、それはその人自身のみならず他の人々にとっても危険なことです。ですから、気づきを高めるためにワークをするべきであり、即座の結果を約束するようなものには触れるできではありません。

**そうです、人が“得る”もの、言い換えれば、再形成、現在のパーソナリティーによって再形成されたステート（状態）は失われることはなく、それは次回の転生へと続きます。そして（転生して）新たに現された現在のパーソナリティーはそのレベルからスタートし、継続するのです。ですから何であれ今生で得るものは決して失われることはありません。**



質問：しばしば人は全てを知っている素晴らしい人間として紹介され、私たちを魅了しようとします。

答え：同意します。しかし、それをジャッジ、非難するのは私たちの仕事ではありません。一般的に、真理の探究者は自分が何を受け入れ、何が肯定的な道にあるかを考え、また何を受け入れるべきでないかを考えるべきです。あなた方は私達から、いかなるエレブナの探究者からも、あの人はこれやあれができる、ということを耳にすることはないでしょう。エレブナはこれこれを行っているということは聞いても、私たちの誰かが“私はこれをできる”、“彼はこれができる”などと主張するのを聞くことはないでしょう。そのようなことは間違っています。私たちは人々がいかなる特定のパーソナリティーからも魅了されることを望みません。私たちは現在のパーソナリティーにフォーカスすることはしません。重要なことは、助けとして何を提供できるか、それだけです。それ故に私たちは宣伝しないのです。誰が参加したいと望んでも、ドアーは開かれています。私たちは何かを得るためにここにいるのではなく、助けを提供するためにいるのです。それだけです。

エレブナに参加することは何かの仕事のためではありません。エレブナは非営利の組織であり、エレブナは実際に特定のパーソナリティーによって存在しているのではなく、全員によって存在しているのです。何が提供されようとも、それは私たちが提供しているのではありません。さらにそれらはエレブナに属するわけではなく、私たちの所有物ではありません。それは実際にこの宇宙における全人類の所有物なのです。それゆえエレブナはいかなることがあろうとも、真理を求める探究者の喉の渇きにつけこんで搾取するようなことはしません。

質問：恩寵、慈悲に到達するためには、おそらくメタノイアを通じてエゴ中心のステートから神中心のステートに移行する必要があると思われるのですが。

答え：メタノイア（悔い改め、回心）とは何でしょうか？これについてお話ししましょう。まず、何故私たちはここにいるのでしょうか？主は全ての人のなかにいるというキリスト教徒が信じていることを取れば、私たちは主によって生かされています。この地球という小さな惑星のみならず諸宇宙における全ての人間を教化、啓発するのは光です。しかし、私たちは自分たちが主を現していないことを知っています。ですから、そのようなステートにいるということには、目的、聖なる神の目的があります。さもなければ、主は無知のなかにいる人々を生かしめるようなことはしないでしょう。

**無知すらも、そこには目的、神の目的があるのです。私たちは無知を過小評価することさえすべきではありません。**

最愛なるお方は弟子に、主が非常に困難な状況、飢えなどの状況にあるのを見たが、その弟子は主を助けなかった、と言いました。するとその弟子は「いつ私たちがマスターであるあなたがそのような状況にあるのを見たというのでしょうか？」と尋ねたのです。そると最愛なるお方は、「あなたは非常に多くの同胞の人間たちがそのような状態にあるのを見たが、あなたが見たのは私なのです」と答えたのです。彼は、私の後を歩いてくる人間をあなたは見た、あるいは、彼らは正しい思考を現している人間である、などとは言いませんでした。また彼は、現在のパーソナリティーにとって有用なもの全て、それらは一生懸命に努力した結果である、と言いました。それが主が述べたことでした。

Page6

神の恩寵が介入した（＊神の恩寵によって助けられた）と見なされるような場合、その人は何かから開放される準備ができていたのです。その人にはその準備がすでに出来ていたからです。もし全ての人を癒すこと、開放することが目的であるなら、主は確実にそれを行ったことでしょう。しかしそれならば、無知のなかに入り、非常に多くの“苦しみ”、痛みを経験する目的は一体何でしょうか？なぜなら、絶対愛は私たちのなかにあるからです。現在のパーソナリティーとしてのイエス・キリスト・ロゴスですら、この地上に生きていた時、全ての人の痛みを取り去ることはせず、僅かな人の痛みを取っただけでした。あるケースにおいて彼は、彼らはまだ準備ができていない、と述べたのです。実際、彼は主の恩寵、慈悲を現して助けることができなかったのでしょうか？しかし、ロゴスですら原因・結果の法則に逆らうことはできず、神の黙想に逆らうことはできないのです。なぜなら、創造界全体、諸宇宙はアウタルキーおよび神の黙想の動きのなかにあるからです。

私たちはその活動、動きのなかにあります。私たちはこの神の黙想の活動の小さな部分を経験しており、私たちはその事実に気づいておらず、知らないのです。お坊さんのところに行って罪を告白し、その後で悔い改めるというのですか？違います。懺悔、告白の意味は、現在のパーソナリティーがワークをし、何が間違っているかに気づいて、ある気づきのレベルに到達し、そのレベルから新たな気持ちでスタートする準備ができることです。そのパーソナリティーは過去に行っていたことに気づき、もはやそれを繰り返し行うことはしない、そういう意味です。ただお坊さんのところに行くことによって懺悔できるわけではありません。繰り返しますが、懺悔・告白とは、私は気づいた、私は努力した、私は一生懸命にワークした、それまで現していたことを繰り返すことはしない、ということです。私は現れの周波数を変えた、私は後戻りはしない、ということです。それが本来の意味です。実際にキリスト教徒はそうあるべきです。名前だけのキリスト教徒ではなく、その現れとワークにおいてのキリスト教徒です。それが本当のキリスト教徒です。キリスト教徒として生まれた人でなくてもクリスチャンの人がいます；無条件の愛を同胞の人間達に差し伸べる人は誰でもクリスチャンです。それが本当のクリスチャンです。古代ギリシャにおいてさえ、様々な神秘学派で行おうとしていたのはそれなのです。

EREVNA/SPA62/KE9M2/